発信人 日本国特許庁(国際調査機関)

出願人代理人	752.09		
小笠原 史朗 様			
あて名			
〒 564-0053	PCT 国際調査機関の見解書		
大阪府吹田市江の木町3番11号	国际調査機関の兄所督 (法施行規則第40条の2)		
第3ロンヂェビル	[PCT規則43の2.1]		
	発送日		
	(日.月.年) 08. 2. 2005		
出願人又は代理人			
の書類記号 PCTO4-190	今後の手続きについては、下記2を参照すること。		
国際出願番号 国際出願日	優先日		
PCT/JP2004/016146 (日.月.年) .29.	10.2004 (日.月.年) 14.11.2003		
国際特許分類 (IPC) Int. Cl' G01C	21/00 G08G1/0969 G09B29/10		
出願人(氏名又は名称)			
松下電器産業株式会社			
1. この見解書は次の内容を含む。			
× 第 Ⅰ 欄 見解の基礎	·		
□ 第Ⅱ欄 優先権			
第Ⅲ欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解の不作成 第Ⅳ欄 発明の単一性の欠如			
それを裏付けるための文献及び説明			
□ 第VI欄 ある種の引用文献			
第VI欄 国際出願の不備			
第112 第112 第112 第112 第112 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			
2. 今後の手続き	· ·		
	査機関とは異なる国際予備審査機関を選択し、かつ、その国		
際予備審査機関がPCT規則66.1の2(b)の規定に基づいて ない旨を国際事務局に通知していた場合を除いて、この見	(国際調査機関の見解書を国際予備審査機関の見解書とみなさるのでは、日本の日本の目的では、「日本の見解書」といった。		
ない自を国际事物内に超知していた場合を係いて、このテ	C件台は国际「佣番宜機関の取例の兄件台とみなされる。		
この見解書が上記のように国際予備審査機関の見解書とみなされる場合、様式PCT/ISA/220を送付した日か			
ら3月又は優先日から22月のうちいずれか遅く満了する期限が経過するまでに、出願人は国際予備審査機関に、適当な場合は補正書とともに、答弁書を提出することができる。			
	ו		
さらなる選択肢は、様式PCT/ISA/220を参照すること。			
3. さらなる詳細は、様式PCT/ISA/220の備考を参照すること。			
見解書を作成した日	•		
25.01.200	0.5		
名称及びあて先	特許庁審査官 (権限のある職員) 3 H 9 3 2 3		
日本国特許庁 (ISA/JP)	本庄 亮太郎		

様式PCT/ISA/2.37 (表紙) (2004年1月)

郵便番号100-8915

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

電話番号 03-3581-1101 内線 3314

第 I 欄 見解の基礎	·		
1. この見解書は、下記に示す場合を除くほか、国際出願の言語を基礎として作成された。			
この見解書は、それは国際調査	語による翻訳文を基礎として作成した。 をのために提出されたPCT規則12.3及び23.1(b)にいう翻訳文の言語である。		
2. この国際出願で開示されかつ請求の範囲に係る発明に不可欠なヌクレオチド又はアミノ酸配列に関して、 以下に基づき見解書を作成した。			
a. タイプ	配列表		
	配列表に関連するテーブル		
b. フォーマット	当		
	□ コンピュータ読み取り可能な形式		
c. 提出時期	出願時の国際出願に含まれる		
	この国際出願と共にコンピュータ読み取り可能な形式により提出された		
	出願後に、調査のために、この国際調査機関に提出された		
3. さらに、配列表又は配列表に関連するテーブルを提出した場合に、出願後に提出した配列若しくは追加して提出した配列が出願時に提出した配列と同一である旨、又は、出願時の開示を超える事項を含まない旨の陳述書の提出があった。			
4. 補足意見:			
	·		

国際調査機関の見解書

国際出願番号 PCT/JP2004/016146

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についてのPCT規則43の2.1(a)(i)に定める見解、 それを裏付る文献及び説明				
1. 見解				
新規性(N)	請求の範囲 請求の範囲	1 - 1 0	有 無	
進歩性(IS)	請求の範囲 請求の範囲	1 – 1 0	有 無	
産業上の利用可能性(IA)	請求の範囲 請求の範囲	1 – 1 0	有 無	

2. 文献及び説明

文献: JP 5-88611 A (三菱電機株式会社) 1993.4.9 (ファミリーなし)

請求項1-10に記載された発明は、国際調査報告に引用された文献に記載されておらず、当業者にとって自明のものでもない。